

会 議 録

会議の名称	第3回 東由利地域協議会
開催日時	平成19年2月15日(木) 午後1時30分
開催場所	東由利総合支所 2階 第3・4・5会議室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	小番正裕、阿部清太郎、阿部陽悦、阿部一郎、村上主江、 畠山与一、小松勝男、大日向操子、大沼武彦、阿部タツ子、 畠山勉、今野登和子、畠山鋼、大日向幸子、小島静子
会議次第	
1. 開 会	
2. 会長挨拶	
3. 案件及び説明	
1) 由利本荘市観光振興計画(案)について	
2) 平成19年度の事業計画について	
4. その他	
5. 閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

出席者名簿

(地域協議会委員 14名)

役 職 名	氏 名	備 考
会 長	遠 藤 忠 平	
副 会 長	長谷山 光	
	阿 部 竹 雄	
	梅 津 榮 一	
	小 松 佳 和	
	大 庭 時 晴	
	谷 口 幸 子	
	梅 津 嘉一郎	
	小 松 信 子	
	石 渡 力 造	
	金 子 拓 雄	
	高 橋 慶 助	
	小 松 耕之助	
	長谷山 博 昭	

区 長	佐 藤 知 泰	
総合支所長	今 野 喜 次	
市民課長	佐 藤 順 一	
建設課長	小 松 建	
産業課長	柴 田 和 尋	
教育事務所長	高 橋 悦 子	
東光苑施設長	大 庭 敏 昭	
福祉保健課主席主査	大 井 法 生	
観光振興課長	佐 藤 良 夫	
観光振興課主査	三 浦 浩 喜	
観光振興課主査	高 橋 知 哉	
事 務 局	高 橋 裕 子	
	佐々木 晃 子	

第3回 東由利地域協議会

と き 平成19年2月15日(木)
午後1時30分～4時
ところ 東由利総合支所
2階 第3・4・5会議室

1. 開 会 午後1時30分

2. 挨拶

会長挨拶

昨年暮れに各地域協議会の会長が集まり会長会が開催され、地域協議会の在り方についてこのままで良いかという話し合いが行われた。地域協議会では、地域の課題を掘り下げて重みのある話し合いをし、きちんと本庁へ届けなければならない。会長会はこれから定期的開催される予定。

また、1月31日には地域協議会の会長と市長の語る会が開かれ、地域の課題について忌憚なく話し合ったが、そこでも地域協議会の意見がどのように本庁へ届いているかという話が出た。

事務局側で集約された案件ばかりでなく、もっと掘り下げた話し合いの結果を本庁へ届けていきたいと思う。観光振興計画についても意見や感想を出し合って有意義な会にしていきたい。

3. 案件及び説明

1) 由利本荘市観光振興計画について (資料1)

佐藤

観光振興課長

(観光振興計画策定までの経緯と概要を説明)

昨年策定した総合発展計画の第2節「活力とにぎわいのあるまちづくり」では、市の農林漁業と観光の骨格的なものを示した。それをさらに細かく分類し、現状を把握し観光施策を進めていく必要があることから、観光振興計画が策定されることになった。

総合発展計画と同じ10カ年計画。民間の意見も取り入れるため、昨年7月には県も交えた策定委員会を作った。地域協議会委員の長谷山博昭さんにも加わっていただいている。

	3月上旬に最後の策定委員会を開催し、作業を詰めていきたい。
三浦主査	(観光振興計画の要旨を説明)
A委員	観光入込数の10年後の目標数値を30%増として設定しているが、何を基準にした30%増なのか。 東由利の誘客数は道の駅と八塩いこいの森でほとんどを占めている。各地域で誘客を30%増させれば、単純に市の30%増につながる。東由利地域の特産品や八塩いこいの森のピーアールなど、支所としての考えを聞かせてほしい。
佐藤 観光振興課長	30%という数字は努力目標。 県の観光振興計画では平成12年から平成22年までの目標数値を50%増としたが、平成16年まで横ばいだったため、平成17年に計画を見直して後期5カ年で20%増を目標数値とした。市の数値もこれを踏まえたものになっている。
柴田産業課長	東由利地域の整備についてもこの計画内に含まれている。パークゴルフ場のコース増設も計画したい。 湯楽里では今月25日までフランス鴨や由利牛を使った特別メニューを作って特産品のピーアールをしている。
A委員	各地域に予算をおき、休耕地に花を植えるなどして観光客が各地を渡り歩くように促す計画はないか。八塩いこいの森に行くまでも休耕地がある。
柴田産業課長	具体策は考えていないが、配慮していきたい。
B委員	いかに計画を実施していくかが問題。 わか杉国体の冬季大会は好評だったようだが、集った県外の人々がどのような印象を持ったかアンケートなどをとって、次へつなげていかなければならない。すべて単発で点と点が結びつかないのではリピーターの確保につながらない。
佐藤 観光振興課長	民間でできることは民間でやってもらって、行政は後方支援に回りたい。市の公共施設が多いので、民間施設との連携が必要。
C委員	八塩いこいの森だけではどうにもならない。鳥海山麓の全体ルートを考えると、仁賀保・矢島・館合線の開発が不可欠。茶屋長根は歴史の道でもある。

小松建設課長	県に陳情していきたい。
佐藤 観光振興課長	市の外回り線として認識している。陳情を続けたい。
B 委員	計画にないものは、途中で追加することはできるのか。
佐藤 観光振興課長	計画にないものでも、やるべきものはその都度追加していくことになると思う。
B 委員	行政側で観光振興の仕掛け人となる人材を育成してほしい。
佐藤 観光振興課長	責任ある回答はできない。意見として承りたい。
D 委員	職員から呼びかけがあれば民間も取り組める。行政からの発信も必要。それを考慮しながら執行してほしい。

2) 平成 19 年度の事業計画について (資料 2)

今野総合支所長	議会上程前なので予算額は明確にできないが、内示の段階で要望額の 92% はついている。
各課長	(各課の事業説明)
E 委員	この会議で話し合った内容を責任をもって伝えていくのも区長と総合支所長の役目。 街路灯 4 基分の予算しかないが、もっと設置しなければならないのではないか。 大琴に携帯電話の鉄塔が建てられたが、エリアが狭い。19 年度に黒淵地区に建てられる鉄塔の規模はどのくらいのものか。
小松建設課長	限られた予算の中で取り組まなければならない。通行に支障のある箇所や、カーブ、交差点などの危険箇所から順次やっていきたい。
高橋参事	予定地や鉄塔の規模など具体的なことはまだ決まっていない。

E 委員	<p>基盤整備促進事業について、館合新田メタダレ地区の基本設計以外の測量とは。</p> <p>また、地籍調査の進捗状況を教えてほしい。</p>
柴田産業課長	<p>平成18年度も用水路調査をしたが、まだ調査を必要とする箇所があるだろうということから予算確保したもの。</p>
高橋参事	<p>地籍調査の進捗率は88.0%。補助金の関係で少し遅れている。</p>
G 委員	<p>新しくできたミニデイは、利用者数が決まっているのか。利用者の基準を教えてほしい。</p>
大井主席主査	<p>特定高齢者が対象となる。特定高齢者とは、介護認定を受けていないが、要介護状態に陥りそうな人のこと。基本検診を受けて認定された人が利用できる。人数が決まっているわけではない。</p> <p>合併前から利用している人は今までどおりだが、今後は特定高齢者だけが対象。</p>
H 委員	<p>タクシー券の枚数が減っていくのはどうしてか。</p>
大井主席主査	<p>合併協議の中で、タクシー券は合併後3年で廃止すると決まった。ご理解をいただくために、年度ごとに徐々に枚数を減らしている。</p>
I 委員	<p>行政協力事業費が減らされたので、分館活動もやりにくくなった。また、懇親会費は住民自治活動支援交付金の対象にならないのか。</p>
高橋 教育事務所長	<p>無料で県や市の出前講座もやっているので利用してほしい。</p>
高橋参事	<p>住民自治活動支援交付金は、人夫賃や懇親会費は対象にならないのでご理解願いたい。</p>
J 委員	<p>作業道整備の補助金は廃止されたのか。</p>
柴田産業課長	<p>林道開設事業に含まれている。</p>
C 委員	<p>この協議会の会議録を届けっぱなし、受け取りっぱなしではだめ。会議録とは別に要望を箇条書きにしたものを提出し、それに対して市長名の回答を得るようにできないか。そうすればこの会の緊張感も出てくると思う。</p>

D委員

執行部との意思疎通を図ることも必要。また、要請されたとき以外でも協議会を開催していかなければならない。会長会も定期的に開催していく。

協議会の在り方を明確にしないまま出発したようにも感じるが、ここで見直しをすれば、協議会ももっと充実したものになっていくと思う。

教育費や給食費の未納問題は東由利にもあるか。

高橋
教育事務所長

調査中なので、もうしばらくお待ちいただきたい。奨学金の滞納者は1名。

5 . 閉 会 午後4時